

認定こども園昭和幼稚園 平成 31 年度

学校評価公表シート（自己評価結果）

1. 認定こども園昭和幼稚園の教育・保育目標

幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、ひとりひとりをのびのびと心豊かに育てる。そして、集団生活、遊びを通して、人とかかわる力、心情、意欲、態度を培う。保育を必要とする子どもの生活を保障すると共に子育ての支援をする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園型認定こども園に移行し5年目を迎えた。保育所機能部分の保護者の利用度が増し、この制度が浸透してきたのでさらに1号こども特に新2号こどもの一時預かり保育の充実をはかる。移行後入園してくるさまざまな子どもたちの育ちを保障する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
幼稚園の教育課程の編成を、学年単位、異年齢交流保育のチーム別の実施に於いて、教職員間で共通理解をする。保護者への周知徹底を促す。	平成 18・19 年度、幼児教育センター指定園としての発表後も、大阪教育大学名誉教授、元平安女学院大学教授の早川勝廣先生の指導を受け確立してきた異年齢交流保育を充実する。 3 年間経験する事によりしっかりと子どもの育ちが受けとめられる。 年度末における保護者へのアンケートにより、年度を増すにつれ確かなものになり、当園のあたりまえの保育になってきている。そして、少子化の現在 異年齢交流保育における子どもの育ちが期待されている。 平成 27 年度より認定こども園に移行したため教育時間後の保育においても異年齢のかかわりを考え、新制度における ふさわしい保育を模索する。
幼稚園型認定こども園移行に伴い保育者の労働形態を考え、現況の子どもの教育と保育の部分構築する。	社会的ニーズに応えられる幼稚園として、預かり保育、地域との交流、幼小連携、発達相談等さまざまな面において検討する。 新制度に移行し、11 時間開園が通常なものになった。土曜日は1号こどものホームクラスと2・3号こどもの利用時間内保育日となった子どもたちの利用時間が長くなるにつれ、現教職員達の配置に配慮を要する。

<p>教育・教諭の質の向上のための園内研修を深める。</p>	<p>さまざまな特性を持った子どもの育ちを保障するうえでは、学期末ごとに講師と共に事例を検討し内容を充実させている。 チーム別に毎週1回異年齢交流保育『なかよし』を実施するにあたり職員間の話し合いで子どもの予想される姿を捉え職員同士共通認識し子どもへの理解が深まる。 実施後反省会、報告会を持ち次の保育につなぐ。」 保育教諭等の確保が難しいため教育の質を高める事が出来るか不安である。</p>
<p>保護者のニーズの把握と共に幼児期の育ちにふさわしい環境を浸透させる。</p>	<p>保護者懇談、保育参観、行事参加、異年齢交流保育や、行事後、保護者へのアンケートや感想文を実施。回収後統計をとり、まとめ、結果を考察し、園の考えを示す。 新システム移行にあたり、アンケートや意見により1・2号子どもの保護者の行事日程及び行事参加、そして保護者会のあり方を課題とする。</p>
<p>食育について考える。</p>	<p>食を通じて食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付け感謝の気持ちを育てる。 週3回の給食で、今まで食べられなかったものが食べられるようになる。 アレルギー疾患における除去食について、教職員の共通認識を深める。 大正区食育推進ネットワークが取り組む食育展に、テーマに沿ってパネル参加するにあたり保護者へのアンケート調査実施により、当園の子どもたちの家庭環境が把握できる。 教職員はもとより保護者の食育への関心、意識を深める</p>
<p>安全管理</p>	<p>認定こども園に移行したため、園で過ごす子どもたちの時間が長くなる。そのためより警察や地域との連携を深め子どもたちの安全を守る。行事の時は関係者以外の来園を阻み、許可された来園者にはリボンをつけるようにする。</p>

4. 学校の評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>	<p>教育終了後の保育部分の充実と工夫。 預かり時間の個人差があり子どもたちのかかわりを考えた生活計画を立てにくい。 家庭で体験することを幼稚園で求められる未就園児クラスにおいては3号子どもにとって週3回の保育を必要としない子どもたちと遊ぶことにより、3号子どもの日々の生活にも変化があり刺激となり良い環境になっている。</p>
---	--

※「4.」の評価結果の表示方法

A	十分に達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園に対する保護者のニーズと保育所機能	<p>建学の精神、私学の独自性を考慮し、また現況における子どもの育ちを配慮しつつ、且つ保護者のニーズに応えられるように職員配置と勤務形態を考える。それと共に保護者に幼児期での親のかかわりの必要不可欠性を理解してもらう。</p> <p>1号こども特に新2号こどものホームクラス（預かり保育）の定員枠を増やしいつでも利用できるよう工夫する。</p> <p>人材確保に難しい現状であるがホームクラス担当教諭の勤務形態を考慮し人員配置を考える。</p>
情 報 公 開	<p>現在 園だよりや参観日、ホームページ等を通じて保護者への周知徹底に取り組んでいる。また、今以上に地域一般の方にもホームページやお知らせボード等を利用してもらえよう検討、工夫をしていく。</p> <p>めだか教室・わんぱく広場・キンダーカウンセリング・ルビー&ゴールドふれあい広場等の案内募集を自園のお知らせボードや大正区の子育てネットに掲載して園外に知らせる。</p>
安 全 対 策	<p>火災・震災に対する避難訓練実施、および防犯・防火教室の実施。園児の安心、安全確保のため園舎の耐震化・老朽化にとりくむ。</p>
個人情報の管理	<p>園児の個人情報の管理が適切に行われているか、チェックシートにおいて確認する。</p> <p>管理において教職員で共通認識を持つ。携帯電話の持ち込みや園で使用するパソコン、カメラ等のデータ管理について確認し、紙媒体は適切な廃棄(指定業者による融解処分)を行う。</p> <p>マイナンバーの適切な管理。</p>
特 別 支 援	<p>気になる子どもの在園が多くなってきたので当園の臨床心理士と共に支援の方法を考え、個別の保育計画を策定する。支援教諭と共に全員の教諭が共通認識を持てるよう当園の臨床心理士を講師に園内研修を充実させる。</p>

6. 財務状況

<p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められ平成 27 年度には黒字経営になったが、28 年度、29 年度は支出超過になった。30 年度は特定保育料を見直し教員配置充実費 3,000 円施設費 1,000 円に加え保育内容充実費として 2,000 円を追加徴収した。</p> <p>満3歳児入園、2号こどもが定員を満たし、園児数もわずかであるが増加したので黒字経営となった。</p> <p>31 年度は、10 月より保育料が無償化になったので給付費と特定保育料のみの収入で、財政は苦しかった。特に年少児減が収入の減少に大きく影響を与えた。</p>
--

学校法人 昭和幼稚園

令和元年度財務情報

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

資金収支計算書

収入の部	
区分	総計 (円)
学生生徒等納付金収入	7,336,860
寄付金収入	737,118
補助金収入	63,323,740
事業収入	3,783,180
配当金収入	1,203
雑収入	1,911,065
前受け金収入	0
その他の収入	11,704,121
資金収入調整勘定	△1,860,284
前年度繰越支払資金	18,630,298
収入の部合計	105,567,301

支出の部	
区分	総計 (円)
人件費支出	59,355,374
教育研究経費支出	11,455,628
管理経費支出	8,438,701
設備関係支出	0
資産運用支出	1,000,000
その他の支出	10,084,025
資金支出調整勘定	△731,838
翌年度繰越支払資金	15,965,411
支出の部合計	105,567,301

事業活動収支計算書

教育活動収入の部	
科目	総計 (円)
学生生徒等納付金収入	7,336,860
寄付金収入	737,118
補助金収入	63,323,740
事業収入	3,770,580
雑収入	1,911,065
教育活動収入の部合計	77,079,363

教育活動支出の部	
科目	総計 (円)
人件費支出	59,355,374
教育研究経費支出	12,893,426
管理経費支出	8,563,545
教育活動支出の部合計	80,812,345

教育活動外収支	
	総計 (円)
教育活動外収支差額	1,203
経常収支差額	△3,458,820
特別収支差額	0

貸借対照表

(令和2年3月31日現在 単位：円)

資産の部		
科目		総計 (円)
固定資産		35,893,647
内訳	有形固定資産	26,217,207
	その他の固定資産	9,676,440
流動資産		18,019,115
資産の合計		53,912,762
負債、基本金及び消費収支差額の部		
科目		総計 (円)
固定負債		0
流動負債		888,769
負債の部合計		888,769
基本金		94,095,113
(うち第1号基本金)		(88,095,113)
翌年度繰越消費支出超過額		△41,071,120
純資産の部合計		53,023,993
負債、基本金及び消費収支差額の部 合計		53,912,762

この財務諸表は 学校会計基準に準拠し、公認会計士による監査を受けています。

監査報告書

私立学校法第 37 条(第 4 項)及び寄附行為第 34 条の規定に基づいて、令和元年度決算にかかる事業報告、決算報告及び関係書帳票、証拠書類並びに理事の業務執行状況について監査したところ、その事業の執行及び財務諸表の内容は、適正であることを認めます。

令和 2 年 6 月 23 日

監事 素公田 芳郎  印

監事 東 堀 洋子  印

学校法人 昭和幼稚園 平成 31 年度（令和元年度） 事業報告書

（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）

1. 法人の概要

- I. 名 称 学校法人 昭和幼稚園 （大阪府公認）
- II. 住所等 大阪府大阪市大正区泉尾 1 丁目 37 番 1 号
電話番号 06-6551-1055
ホームページ <http://www.showa.ed.jp>
- III. 設置する学校
認定こども園 昭和幼稚園
- IV. 理事長氏名
大井文子

2. 事業の概要

I. 教育目標

- ・ 適当な環境を与えて、のびのびとその心身の発達を助長する。
- ・ 自分で考え、意欲を持って行動する子ども、みんなで力を合わせてやり抜く子どもを育てる。
- ・ 異年齢交流保育を通し人とかかわる力を育てる。
- ・ 保育を必要とする子どもの育ちを保障する。

II. 定員・実員学年内訳（平成 31 年度 5 月 1 日現在） ※（ ）内はそのうちの 2 号こども数

	2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		合 計
	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	園児数
定 員	1	5 (3号こども)	2	30(10)	1	30(10)	1	30(10)	95
実 員	1	5	2	11(5)	1	27(10)	1	23(4)	66

III. 保育時間（教育）

- ・ 月～金曜日…午前 9 時 30 分～午後 2 時
- ・ お弁当日……火・木 曜日
- ・ 給 食 日……月・水・金 曜日

IV. 保育料及び諸経費

- ・ 保育料……保護者の居住する市町村が定める保育料（利用者負担額）
- ・ 保育料以外の費用（特定負担額） 重要事項説明参照
- ・ 保育料以外の諸経費 重要事項説明参照

V. 入園時の費用

- ・制服・体操服・カバン・帽子・個人持ち道具代 (入園時)
 - ・5歳児 27,000円 4歳児 25,000円 3歳児 23,000円 程度
 - ・2歳児 個人持ち道具代 2,400円程度 (制服・かばん指定無し)
- ・入園料 徴収無し

VI. ホームクラス (預かり保育)

- ・平常保育日 月～金曜日…午前8時00分～午前9時00分
午後2時～午後7時まで
- 土曜日 (第2を除く) …午前8時00分～午後2時30分

3. 行事の実施状況

- ・4月 始業式、入園式、SHOWA 保護者会総会、消防訓練、お誕生日会
- ・5月 身体測定、子どもの日お祝い、尿検査、お誕生日会
SHOWA 保護者会総会、王子動物園へ遠足 (保護者同伴)
SHOWA 保護者委員会・SHOWA お母さん交通安全クラブ 合同委員会
- ・6月 内科検診、歯科検診、大阪府警本部による交通安全指導 (全園児・保護者)
保育参観、異年齢交流保育、お誕生日会、年長児卒園記念パネル製作
- ・7月 年長児中泉尾小学校体験学習、プール、お誕生日会、七夕まつり (夕涼み会)
異年齢交流保育、終業式、夏期保育、年長児お泊り保育 (7/27～28)
- ・8月 夏期特別ホームクラス(プールあそび)、8/30 大掃除(保護者会協力)
1号こども夏期休業 (保育利用児通常保育)
- ・9月 始業式、次年度入園希望者対象幼稚園説明会
SHOWA お母さん交通安全クラブ危ないヶ所チェックパトロール、
お誕生日会、秋の交通安全キャンペーン参加 (年長有志)、異年齢交流保育
- ・10月 新入園児願書受付、運動会、おイモ掘り遠足、焼いもパーティー
お誕生日会、視力検査 (年長・年中)、ルビー&ゴールドふれあい広場
異年齢交流保育、おみせやさんごっこ
- ・11月 バザー・6年会 (卒園生同窓会)、泉尾高校文化祭 (年長)、一日動物園
園外保育 (服部緑地)、幼児防火教室、七五三詣り、異年齢交流保育
SHOWA 保護者会総会・異年齢交流保育の参観、新入園児健康診断・面接
お誕生日会
- ・12月 おゆうぎ会、異年齢交流保育、お誕生日会、終業式、1号こども冬期休業
- ・1月 始業式、視力検査 (年少)、お誕生日会、異年齢交流保育
- ・2月 節分まめまき、作品展、年長お別れ遠足 (年長と保護者)
泉尾北小学校一年生との交流会 (年長)、お誕生日会、異年齢交流保育
異年齢交流保育劇あそび発表会 (保護者観劇)
- ・3月 身体測定、ひな祭り、保育参観、お別れ観劇会、異年齢交流保育
お誕生日会、卒業式、修了式、1号こども春期休業、春休みホームクラス